

ブレストセンター開設から一年

ブレストセンター長 西村 令喜

女性のためのトータルケアという観点から、乳癌に特化したがん診療連携拠点病院である相良病院との連携で、2025年7月1日よりブレストセンターを開設いたしました。

1. ブレストセンターでの診療について

乳がんの患者様は年間10万人で女性の中で最も多く、約9人に一人とかなり身近ながんになっています。30代後半から増加し、40代後半と60代後半にピークがあります。これまでに受診された方の年齢は10代～90代と幅広く、乳腺疾患の正確な診断とともに乳がんに対しては薬物治療、手術など専門性を生かしたチーム医療で対応しています。

2. 近年の治療の進歩

乳がん治療はここ数年でかなりの進歩が見られ、「さらなる治療の個別化」の段階に入っています。手術に関してはセンチネルリンパ節生検→リンパ節を全部取る手術の減少、そして手術前の治療により手術の縮小化が可能になっています。

お薬の治療では新しい薬剤の開発でより患者様に合った治療の実施という方向になっています。HER2低発現にも適応拡大されたエンハーツ、さらには新しいホルモン療法としてのカピバセルチブ、そして遺伝性乳がん・卵巣がんBRCA1/2病的バリエーションの方に対してオラパリブによる治療などを適確に行っています。一方、術後治療法の選択にはOncotype DXを用い十分な話し合いのもと治療法を決定しています。これらの新しい治療をはじめガイドラインに即した標準(最新)治療を行っています。

3. 診療実績

入院および手術は9月から開始いたしました。

① 受診者数および化学療法件数

センター開設からの受診例数は初診例：764例、再診例：1534例であり、化学療法の件数は外来・入院併せて229件で、ほとんどは外来にて施行されていました。

② 手術例数及び内訳

手術は35例に施行されており、うち1例は良性症例で、残り34例が悪性でした。手術術式は悪性例の82.4%とほとんどの例で乳房部分切除が行われていました。なお、リンパ節郭清例は4例(うち3例はサンプリング)で、手術の縮小化は明らかでした。

③ BRCA1/2遺伝子検査

遺伝性乳がん・卵巣がんに関わるBRCA1/2の遺伝子検査を行ったのは17例で、うち1例が変異あり、という結果でした。

今後とも専門性を生かした、患者様中心の診療に努めていきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。

受診対象期間	受診例		化学療法	
	初診例	再診例	外来	入院
2025/7～2026/4	764	1,534		
2025/9～2026/4			189	40

受診対象期間	手術例			
	乳房部分切除	腫瘍切除	全切除	良性
2025/9～2026/4	27	1	6	1
部分切除の割合:82.4%				

受診対象期間	遺伝性乳がん・卵巣がん		
	BRCA1/2遺伝子検査数	陽性	陰性
2025/7～2026/4	17	1	16



マンモ・エコー室前



化学療法室



センター受付と待合室

外国人患者様の増加と当院の取り組みについて

病院長 河上 祥一

近年、熊本県において外国人在住者は年々増加しており、それに伴い、当院における外国籍の患者様の分娩も増えております。実際に当院では、2022年以降、外国籍女性の分娩数は着実に増加しており、多様な国・地域の方々が安心して出産される環境となっています。

一方で、すべての方が日本で出産されるわけではありません。例えば、台湾の方(TMSC関連の方を含む)は、妊娠中は当院で健診を受けられるものの、出産は母国で行われるケースが多く見られます。また、ベトナムの方についても、日本で出産される方と帰国して出産される方に分かれる傾向があります。

このように、出産に対する考え方や選択は国や文化によってさまざまであり、当院ではその多様性を尊重しながら、すべての患者様に安心して医療を受けていただける環境づくりに努めております。その一環として、院内掲示やご案内については、日本語に加え、英語・中国語・ベトナム語での表記を可能な限り行っております。また、当院ホームページには「プライバシーポリシー」および「包括同意」に関する内容も掲載しておりますので、ご来院の際にはぜひ一度ご確認ください幸いです。

今後も福田病院は、多様な背景を持つ患者様一人ひとりに寄り添い、安心・安全なお産と医療の提供に取り組んでまいります。

県内の在留外国人に関する基礎データ(R6.12月末・確定版)

① 熊本県在留外国人数

[単位:人]

	国・地域	R5.12	R6.12	R5.12月末比
1	ベトナム	6,714	7,038	324 (+4.8%)
2	フィリピン	3,754	4,091	337 (+9.0%)
3	インドネシア	2,675	3,628	953 (+35.6%)
4	中国	3,363	3,444	81 (+2.4%)
5	ミャンマー	1,119	2,077	958 (+85.6%)
6	台湾	1,549	1,919	370 (+23.9%)
7	ネパール	1,351	1,726	375 (+27.8%)
8	カンボジア	1,380	1,578	198 (+14.3%)
9	韓国・朝鮮	1,069	1,091	22 (+2.1%)
10	タイ	434	460	26 (+6.0%)

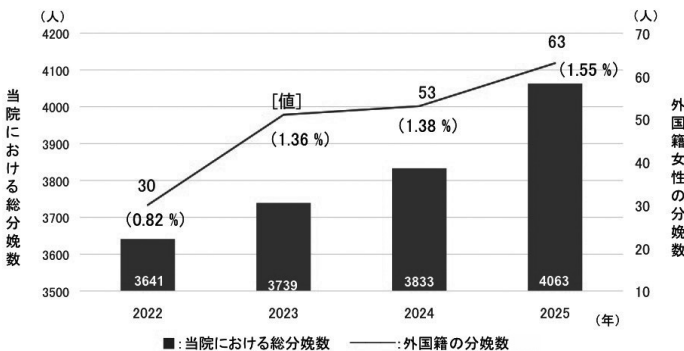
計	25,589	29,385	3,796 (+14.8)
---	--------	--------	------------------

*法務省 在留外国人統計 (https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13_00052.html) を加工して作成 令和6年(2024年)12月末時点
令和7年度第2回熊本県外国人材との共生推進本部より引用

◇熊本県内の在留外国人数は29,385人(対R5.12月末比+3,796人14.8%増)。
※全国は376万8977人(R5.12月末比10.5%増)
◇R5.12月末比14.8%増は、全国第7位の伸び率。
◇国・地域別では、R5.12月末と比べて、ミャンマー(+958人)、インドネシア(+953人)、ネパール(+375人)、台湾(+370人)が大きく増加。

② 当院における総分娩数と外国籍の分娩数

*令和7年度第1回推進本部会議で共有



③ 当院の国別外国籍分娩数

